

Q.18

心去り材を高温セット処理を用いて乾燥した場合、どうなるの？

A.18

心去り材であっても内部割れが発生したり強度性能が低下する場合があります。

心去り材であれば高温セット処理を用いなくとも大きな材面割れは生じません。それでも、乾燥時間を短縮するなどの理由で心去り材に適用するケースがあるかもしれません。

ここでは、トドマツ心去り材について高温セット+中温乾燥した場合の内部割れの発生状況や強度性能に及ぼす影響について検討した結果を紹介します。

心去り材に高温セット+中温乾燥を行った場合でも内部割れが発生することがあります(写真1、2)。また、高温セット処理を行わずに乾燥させたものと強度を比較すると、高温セット処理を行わない方が強度は高いという試験結果が得られました(図1、2)。

高温セット処理は、本来は心持ち無背割り正角の材面割れを防ぐ目的で考え出された方法です。ここで紹介したように、木取りによっては高温セット処理を適用しない方が高品質な乾燥材を生産できる場合があります。



写真1 乾燥後のトドマツ心去り材  
(高温セット処理あり)



写真2 乾燥後のトドマツ心去り材  
(高温セット処理なし)

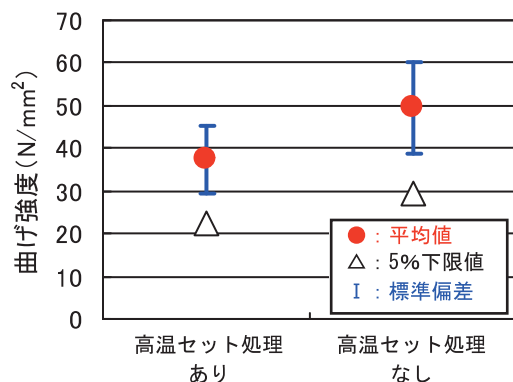


図1 トドマツ心去り材の曲げ強度

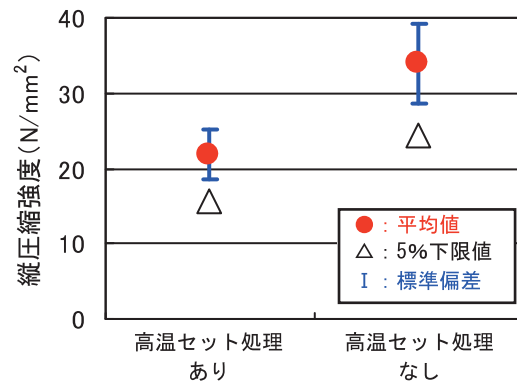


図2 トドマツ心去り材の縦圧縮強度

